

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：2026年3月27日
事業所名：児童発達支援 児童発達支援・放課後等デイサービス くわ

※ご意見は明も書かれていなかった。
対象人数（保護者）6人 回答者数 5人 回収率100%

項目	評価項目	はい	どちらでもない/ない	いいえ	わからない	ご意見が書かれた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5				法律で定められた広さ以上のスペースを備えている事業所です。
	2 職員の数配置は適切であると思いますか。	5				児童発達支援に関しては、支援者の配置はより多いこともあります。最低でも2人に1人の支援者をおくように配置して運営しています。
	3 生活空間は、子どもがわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等の配慮が適切になされていると思いますか。	4			1	事業所自体が十分に存在することによりバリアフリーとは異なると思いますが、子どもたちの安全面やわかりやすい空間を確保して環境整備を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5				特設、清掃や消毒は必ず行っております。また、汚れたと感じた時にはすぐに清掃するようにしています。
	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に合わせた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5				研修を受け、子どもを捉える眼を養ったり、実践スクリプトの向上に努めたりしています。
	6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5				HUG内で公表しております。公表通りに活動や実践を行っています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	5				事業所内個人面接や家庭訪問、医師の協力を必要とする場合など必要に応じて個別支援計画を作成しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5				そのほかで、1冊詳細となるように注目し、相談支援員からの助言やサポートに基づき個別支援計画をもとに具体的な支援内容を設定しています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5				支援計画のほかに専門的支援目標を設定し支援にあがっています。
	10 事業所の活動プログラム（※4）が設定化されないよう工夫されていると思いますか。	5				そもそも、特性として同じことに没頭することが多いよう、異なることに関心しないという傾向を認めています。同じことを繰り返す中で子どもたちの学びを深めていけるような支援を目指しています。
保護者への説明等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域での子どもと活動する機会がありますか。	4			1	所屬などでそれぞれの状態を確保されていますので、あく事業所では他地域の子どもたちとの交流については企画していません。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用料等について丁寧な説明がありましたか。	5				事業所の基本的な英文方は、説明させていただきます。また、HUG上で運営規程などは公開させていただきます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5				保護者とお話しする機会には、そのほかでの課題やニーズの把握の観点からサポートの必要性などを伝えています。気軽に電話など入っていただければと思います。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）（※5）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5				今年度から月に2回のペアレント・トレーニングを企画し、録画動画をYouTubeに上げさせていただきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について連携調整ができていると思いますか。	5				連絡調整を週に1回以上行っております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5				個人面談や家庭訪問を企画させていただきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5				ご本人、ご親と共感的に援助ができるように努めています。
	18 父母の会の活動や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	1	1		3	ニーズのあるのであれば企画してはいるつもりですが、あまり保護者からそのような希望を聞いたことがありません。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて説明・相談し、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5				申し入れがあった場合には、管理職を中心とし、迅速に対応して対応するよう体制は整っています。
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5				連絡帳や保護者連絡にHUGアプリを導入したこと、個人別の情報伝達カードがスムーズになったと考えます。
21 定期的に連絡やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3			2	個人情報の観点からなかなか公表できませんが、連絡帳や共有しやすくなることによりわかりやすくお伝えできるようにしたいと考えています。	
非常時等の対応	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5				個人情報の取り扱いにつきましては、所属機関の目的の範囲で必要と認められる限り、自己評価の結果は所属機関に公開はしていません。ニーズがあれば公開いたします。
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4			1	HUGアプリの導入により個人情報の取り扱いがますます厳格されるようになりました。引き続き大事にしていきたいと考えています。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要訓練が行われていますか。	5				法律で定められた訓練は実施しています。マニュアルに関しては公表できないものもいくつかあります。今後、HUG内で公開していきます。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5				法律で定められた訓練は行っています。そのほか、非常災害時の対応の準備を行っています。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5				HUG連絡記録にて公開させていただきます。
	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	4	1			何か緊急に発生したときには、この重要性を考慮しながら対応させていただきます。
	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	5				安心できる場所になれるように努めています。
	29 事業所の支援に満足していますか。	5				楽しんで通所できるように、遊びや活動を充実させていきます。
	30 事業所の支援に満足していますか。	5				満足度100%を目指し、子どもたちにご満足いただいております。

※1 「本人にわかりやすく（構造化された環境）」とは、子ども本人の理解を得るためのわかりやすいよう、視覚的配慮などを工夫することです。
 ※2 「支援プログラム」とは、事業所における体系的な事業と事業所が提供する活動の見える化を指し、公表することはありません。
 ※3 「児童発達支援計画（個別支援計画）」とは、児童発達支援を受ける子どもについて、その持つ能力、置かれている環境や健康状態の状況に関するアセスメントを通じて、個別の発達や生活課題の把握、生活全体の関与を促すための目標、支援の方向性、支援を確保するための支援計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援計画の構成要件です。
 ※4 「活動プログラム」は、事業所の日常の中で、一定の目的を持って行われる種々の活動のことです。この活動の状況や内容・特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
 ※5 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの発達や生活の特性を踏まえた子どもの関わり方を学ぶことにより、子どもの行動変容を促すことを目指します。